



## クルーズシーズンの始まり

4月24日、クルーズ船「ウエステルダム」(8万2862トン)が初寄港し、小樽港のクルーズシーズンが始まりました。平成31年度(令和元年度)は、今回も含めて16隻29回の寄港を予定しています。港に訪れた皆さんは、クルーズ船の写真を撮ったり、乗客を出迎えたりするなど、小樽への寄港を歓迎していました。



## 火災に備える防御訓練

4月19日、小樽地方合同庁舎で火災防御訓練を行いました。これは、「春の火災予防運動」の一環で、災害対策の確立と火災予防意識の高揚・啓発を目的として行うものです。訓練では、119番通報や職員・来庁者の避難誘導、消防隊による放水などが行われ、参加した皆さんは真剣な表情で取り組んでいました。

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。



## みんなで歩いて体力づくり

5月12日、今年最初の市民歩こう運動を開催しました。当日は、晴天にも恵まれて62人が参加し、花園グリーンロードからおたる水族館まで約8kmのコースを散策。初の試みとして、道中でのおたる案内人による観光ガイドも行われ、参加した皆さんは、小樽の歴史を学びながら、春めいた景色を楽しんでいました。

## 噴き出す蒸気に歓声

4月27日、総合博物館本館で「アイアンホース号」の運行を開始しました。この蒸気機関車は、1909年に製造され、北海道内で動態保存されている最も古い蒸気機関車です。乗車した子どもたちは、汽笛を鳴らしながら力強く進むアイアンホース号に大興奮の様子でした。今年は10月20日(日)までの運行予定です。

